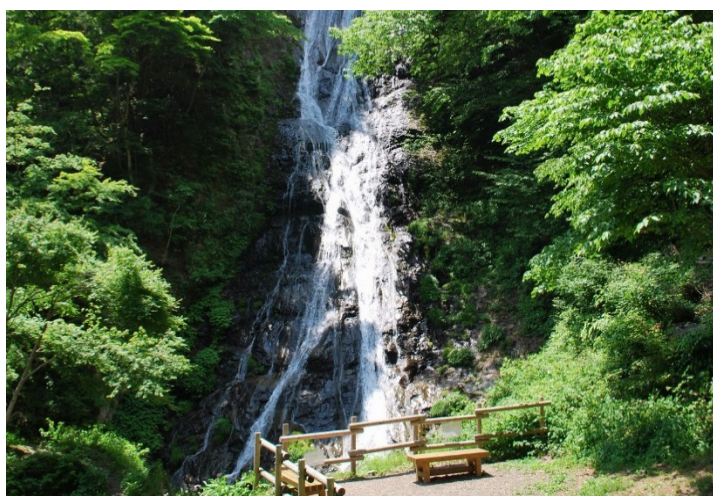


荒川の上流部は山岳地帯であるため、荒川の本川・支川で数多くの滝を見ることができます。



紅葉と丸神の滝



丸神の滝



両神山

丸神の滝

荒川の上流部は山岳地帯であるため、荒川の本川・支川で数多くの滝を見ることができます。

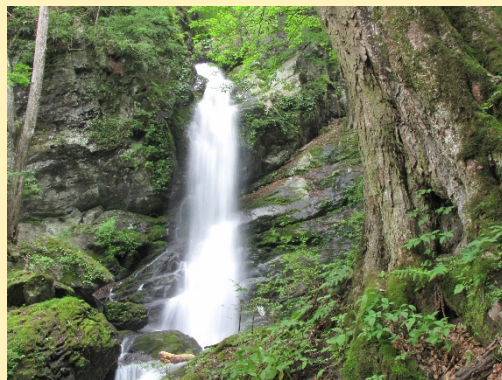
丸神の滝は、埼玉県の数ある滝の中でも唯一「日本の滝百選」に選ばれています。両神山に源を発する小森川支流にある落差約76mの三段の滝は、バリエーション豊かな水の流れを見せ、「豪快」と評するよりも「優美」と表現の方がふさわしいように感じます。静かな森の中、岩肌を流れ落ちる水音を響かせる幽玄の滝は、水量によってもその姿を変え、春の新緑、秋の紅葉、そして冬の凍てついた姿と、四季を通じて私たちの目を楽しませてくれます。約1.5kmの遊歩道も整備されています。

▶ 不動滝

不動滝は、大滝エリアでは最大の栃本地区にある迫力満点の滝です。国道沿いのあずま屋から滝川溪谷まで下り、つり橋を渡りつづら折りを登ること約20分、轟音と共に滝川溪谷に流れ込む大除沢の不動滝が現れます。江戸時代の末期には修行場だったそうです。

滝の周囲はひんやりするほど涼しく、またコントラスト鮮やかに苔生す岩や色濃く茂る大木の緑もみどころです。

滝の落差は約50mで、上段から25m・15m・10mと3段に分かれ流れ落ちます。

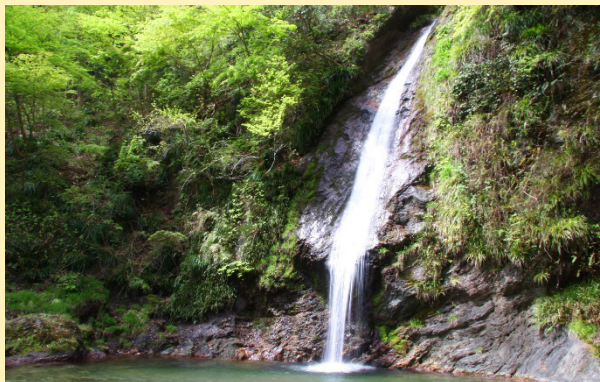


不動滝

▶ 秩父華厳の滝

秩父市、横瀬町、皆野町、小鹿野町に点在するお寺は、秩父札所34ヵ所観音霊場と呼ばれています。秩父華厳の滝は、秩父札所めぐりの最後を飾る三十四番水潜寺から600mほど奥の所にあります。

高さ10数mの滝ですが、日光の華厳の滝とよく似ていることから、その名で呼ばれています。滝上には、目を大きく見開いたユニークな不動明王があります。また、春の新緑から秋の紅葉にかけての景観がたいへん素晴らしい滝です。



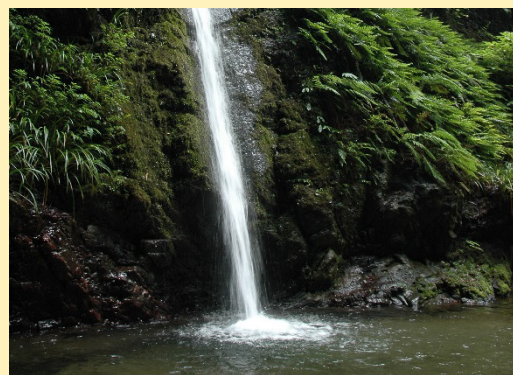
秩父華厳の滝

▶ 宿谷の滝

宿谷の滝は、別名「信太の滝」ともいわれ、古くは修験の場でもありました。

入口には丸太造りのトイレがあり、そこから荒川の支川である、宿谷川に沿って遊歩道が整備され、10分ほど歩くと滝にたどり着きます。

宿谷の滝は、落差12メートル、周囲を苔むした岩壁に囲まれ、真夏でも暑さを忘れさせてくれるくらいに涼しいため、夏休みには水遊びに来る人で賑わいます。滝上には小さな公園も整備されています。



宿谷の滝

アクセス

丸神の滝

交通：西武「秩父駅」下車、
西武観光バス

「小鹿野町役場」下車、
町営バス「滝前」下車

住所：埼玉県小鹿野町両神小森滝前

宿谷の滝

交通：東武越生線「東毛呂駅」下車、
徒歩で約65分又はタクシー

住所：埼玉県毛呂山町大字宿谷地内

不動滝

交通：秩父鉄道「三峰口駅」下車、
西武観光バス「秩父湖」下車、
「栃本関所跡」下車、
徒歩約1時間10分

住所：埼玉県秩父市大滝

秩父華厳の滝

交通：秩父鉄道「皆野駅」下車、
皆野町営バス
「秩父華厳の滝前」下車、
徒歩約5分

住所：埼玉県秩父郡皆野町上日野沢



丸神の滝、不動滝



宿谷の滝



秩父華厳の滝

